

第19回(平成29年)

技術開発・新技術の普及を応援する

国土技術開発賞

国土交通大臣表彰

「ものづくり日本大賞(内閣総理大臣表彰)」への登竜門

大規模技術から匠の技まで

新技術を大募集

応募期間 平成28年10月11日(火)から平成29年1月20日(金)

主催 JICE 一般財団法人 国土技術研究センター



一般財団法人 沿岸技術研究センター

後援 国土交通省

協賛 一般財団法人 日本建設情報総合センター 一般財団法人 先端建設技術センター 一般財団法人 港湾空港総合技術センター

一般社団法人 日本建設業連合会 一般社団法人 全国建設業協会 一般社団法人 全国中小建設業協会

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 一般社団法人 日本建設機械施工協会 一般社団法人 日本道路建設業協会

一般社団法人 日本建設業経営協会 一般社団法人 日本橋梁建設協会 一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会

一般社団法人 日本埋立浚渫協会 一般社団法人 日本作業船協会 一般社団法人 寒地港湾技術研究センター

一般財団法人 みなと総合研究財団 一般社団法人 港湾荷役機械システム協会

広範な新技術を対象に 国土交通大臣表彰

「第19回 国土技術開発賞」(平成29年)実施について

【応募期間】

平成28年10月11日(火)から
平成29年1月20日(金)

【応募に必要な資料】

応募要領、応募に必要な様式は下記のホームページより、ダウンロードすることができます。

詳細は、応募要項をご覧ください。

(一財)国土技術研究センター
<http://www.jice.or.jp/>

【目的】

本「国土技術開発賞」は、技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設産業に係わる優れた新技術を表彰するものです。また、中小建設業者、専門工事業者等の創意工夫やアイデアにあふれた技術を、特別賞「創意開発技術賞」として表彰します。

【応募技術】

(1) 応募技術の対象

住宅・社会資本整備もしくは国土管理に係わる、調査・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法(点検・診断技術、モニタリング技術を含む)、材料・製品、機械、電気・通信、伝統技術の応用などの広範に亘る技術で、下記の条件等を満たす新技術を応募技術の対象とします。

(2) 応募技術の条件等

応募技術に際しては、以下の条件を満たす必要があります。

①概ね過去5年以内に技術開発され、かつ過去3年以内に実用に供された新技術であること。

②過去において本「国土技術開発賞」(**)に応募された技術については、原則として、応募することはできません。ただし、過去の応募以降に、技術内容等が変更・改良されたものについては、再応募することができます。

その他の応募条件等についてはHP、又は応募要領をご覧ください。

(**)「国土技術開発賞」には、第1~2回建設技術開発賞も含まれます。

【応募資格等】

(1) 応募者

応募者は、応募技術の開発を中心となって実施し、かつ開発された技術に対して責任をとれる者(個人(*)、民間法人、行政機関等)とします。応募者が複数になる場合は、原則2者までとします。

(2) 共同開発者

共同開発者は、応募技術の開発に関し、応募者とはならないまでも、技術的に重要な役割を持って参画を行った者(個人(*)、民間法人、行政機関等)とします。

(3) 技術開発者

技術開発者は、応募技術の開発に“直接”かつ“中心”となって携わった者の内、“特に技術的に重要な役割”を担った担当者とします。技術開発者が複数名となる場合は、1団体2名まで、かつ1応募技術あたり原則3名までとします。

(*)「個人」とは、大学等(**)の研究・教育機関に所属する学識経験者等を指します。

(**)「大学等」とは、大学、大学院、工業高等専門学校を指します。

【選考の方法】

応募資料に基づき、第19回国土技術開発賞選考委員会において選考を行います。なお、選考の過程において応募技術の内容等について応募者に資料提出や説明などを求める場合があります。

【表 彰】

優れた新技術とその技術開発者（個人）を表彰します。

賞	件数	表彰者	応募者へ表彰	技術開発者へ表彰
最優秀賞 (注1)	1件	国土交通大臣	表彰状 副賞(盾)	表彰状 副賞(賞金50万円/1技術)
優秀賞 (注1)	2件程度	国土交通大臣	表彰状 副賞(盾)	表彰状 副賞(賞金20万円/1技術)
入賞	数件	選考委員会 委員長	表彰状 副賞(盾)	表彰状
創意開発 技術賞 (注2)	数件	国土交通大臣	表彰状 副賞(盾)	表彰状 副賞(賞金20万円/1技術)

(注1)最優秀賞(国土交通大臣表彰)並びに優秀賞(同)に選ばれた技術は、平成29年度に表彰が予定される「第7回ものづくり日本大賞」の内閣総理大臣賞の候補として、国土交通省が設置する選考有識者会議へ推薦されます。

(注2)創意開発技術賞(国土交通大臣表彰)は、中小建設業者、専門工事業者等が、創意工夫やアイデアを展開・発展させて開発した技術を表彰する国土技術開発賞の特別賞です。

第18回国土技術開発賞 受賞技術一覧

	応募技術名称	応募者
最優秀賞 【1件】	常温硬化型超高強度繊維補強 コンクリート	(株)大林組
優秀賞 【2件】	フラップゲート式陸閘の開発	日立造船(株)/国立研究開発法人海上・ 港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所
	都市型小変位免震構法	大成建設(株)
入賞 【3件】	超低空頭場所打ち杭工法	鉄建建設(株) 東日本旅客鉄道(株)
	高炉スラグを用いた 低炭素型セメントと利用技術の開発	(株)竹中工務店 鹿島建設(株)
	7MW浮体式洋上風車用浮体の 実証技術開発	東京大学大学院教授 石原 孟 三菱重工業(株)
創意 開発 技術賞 【4件】	吹付けモルタル・コンクリート のり面の補修・補強工法	日特建設(株)
	角形鋼管切梁	ジェコス(株)
	風雪の影響を低減する 都市設計シミュレーションの開発	北海道大学大学院教授 瀬戸口剛
	PC構造物の現有応力を測定する スリット応力解放法の開発	(株)計測リサーチコンサルタント (株)K&Tこんさるたん

(応募の受付順による)

【その他】

応募技術の内容等について、選考の過程で不正や事実と反する事項等が発見された場合は、選考の対象から除外いたします。受賞後も、その場合は、入賞の取り消し等を行います。

「ものづくり日本大賞(内閣総理大臣表彰)」への登竜門

最優秀賞、優秀賞に選ばれた技術は、「ものづくり日本大賞」(2年に1回開催)の内閣総理大臣賞の候補として、国土交通省に設置されるものづくり日本大賞の選考有識者会議へ推薦される技術となります。

内閣総理大臣賞の候補となる部門は①製造・生産プロセス部門、②製品・技術開発部門、③伝統技術の応用部門です。

第18回 国土技術開発賞 最優秀賞

～スリムクリート工法～
常温硬化型
超高強度繊維補強コンクリート



本材料で製造した屋内ブリッジ



高強度モルタル+高強度鋼繊維

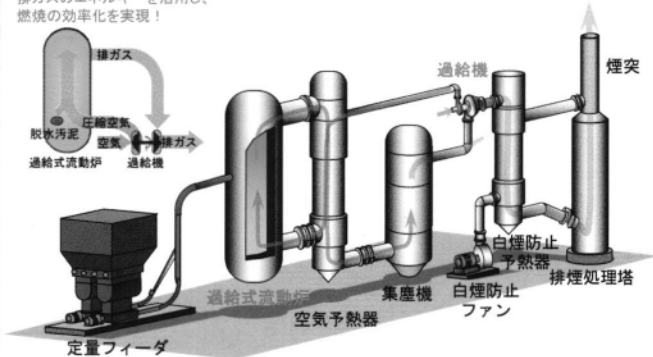
設計
圧縮強度180N/mm²以上
引張強度 8.8N/mm²以上

耐久性100年！ 構造物の長寿命化と軽量化を同時に実現！！

第17回 国土技術開発賞 最優秀賞

～ターボチャージャーを用いた省エネ・低環境負荷型下水污泥焼却炉～
過給式流動燃焼システム

排ガスのエネルギーを活用し、
燃焼の効率化を実現！



第17回 国土技術開発賞 最優秀賞

第6回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞（製品・技術開発部門）

～産業副産物、特殊混和剤を使用した海水練りコンクリート～
高耐久海水練りコンクリート



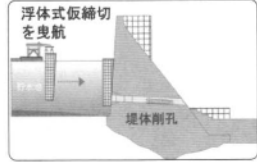
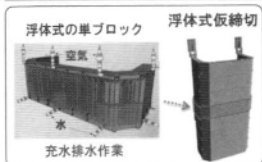
コンクリートから使用
コンクリート水密性の向上
一透水試験後の浸透深さ一
真水練りコンクリート 高耐久海水練りコンクリート
浸透深さ

第16回 国土技術開発賞 最優秀賞

第6回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞（製造・生産プロセス部門）

～ダム再開発工事における仮締切工の大幅効率化～

浮体式仮締切工法



「第19回 国土技術開発賞」
応募から表彰まで

応募

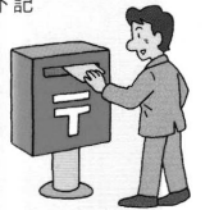
- 「第19回 国土技術開発賞応募要領」に基づき、所定の様式に必要事項をご記入の上、ご応募下さい。
- 「第19回 国土技術開発賞応募要領」は、下記のホームページよりダウンロードすることができます。

(一財) 国土技術研究センター (JICE)
(<http://www.jice.or.jp/>)



- 応募資料は、下記事務局メールアドレスへ送付いただくと共に、一部の資料については、CD-R等により下記応募先へ郵送等していただきます。
なお、応募資料は返却いたしません。

■応募期間：平成28年10月11日(火)
～平成29年1月20日(金)



選考

- 応募資料に基づき、第19回国土技術開発賞選考委員会において選考いたします。
- 選考の過程において、応募技術の内容等について応募者に資料提出や説明などを求める場合があります。



入賞者への通知

- 平成29年7月上旬に、入賞技術の応募者に対して通知します。



表彰式

- 表彰式は平成29年7月下旬を予定しています。
- 入賞技術については、技術内容等を下記のホームページにて公表します。

(一財) 国土技術研究センター (JICE)
(<http://www.jice.or.jp/>)

(一財) 沿岸技術研究センター (CDIT)
(<http://www.cdit.or.jp/>)



応募先及びお問合せ先

(一財) 国土技術研究センター (JICE)
情報・企画部内
「第19回 国土技術開発賞」事務局

住所：〒105-0001
東京都港区虎ノ門3丁目12番1号ニッセイ虎ノ門ビル
電話：03-4519-5006 FAX：03-4519-5016
JICEホームページ： <http://www.jice.or.jp/>
事務局メールアドレス： kaihatsusho@jice.or.jp

(平成28年10月)